



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 渡辺 信夫

■ 立地企業景気動向調査の結果

芳賀町工業団地連絡協議会会員企業 79 社を対象に、景況調査を実施しました。結果を2月9日（木）に開催した栃木県知事との意見交換会において、当工業団地立地企業の業況や県に対する要望を説明する際の参考にしました。

調査には 43 社（回答率 54.4%）から回答をいただきました。その集計結果は以下のとおりです。

◆質問1 今期状況と来期の見通し

(1) 今期（令和4年10～12月）は

- ① 前年同期と比較して「不変」は51%（22社）で前年度比13.4ポイント増、「好転」は21%（9社）で前年度比8.8ポイント減、「悪化」は28%（12社）で前年度比4.5ポイント減でした。
- ② 今年前期（7～9月）との比較でも「不変」は56%（24社）で前期比7.2ポイント増、「好転」は16%（7社）で前期比5.3ポイント減、「悪化」は28%（12社）で前期比1.8ポイント減でした。

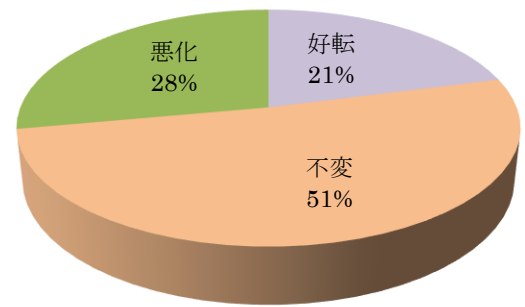
(2) 来期（令和5年1～3月）の見通しは

- ① 前年同期と比較して「不変」は56%（24社）で今期比1.7ポイント増、「好転」は16%（7社）で今期比2.6ポイント減、「悪化」は28%（12社）で今期比0.9ポイント増でした。
- ② 今期（10～12月）との比較では「不変」は63%（27社）で今期比0.6ポイント増、「好転」は16%（7社）で今期比0.1ポイント増、「悪化」は21%（9社）で今期比0.7ポイント減でした。

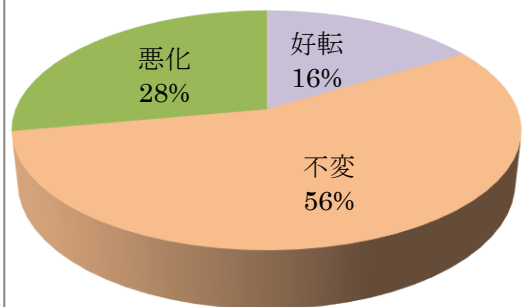
このように、今期は前年同期および前期と比べて「好転」「悪化」がやや減少となっている一方、「不変」の割合は過半数を超え、経済環境が改善しれていないことが分かりました。

また、来期も「不変」とみる企業の割合が高く、新型

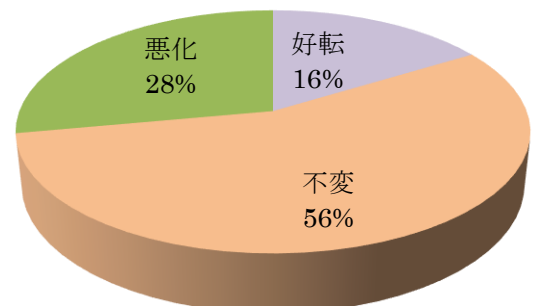
(1)-① 今期（前年同期に比べて）



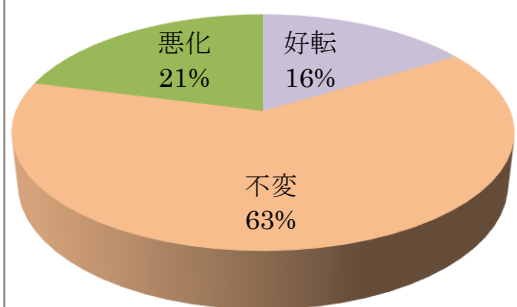
(1)-② 今期（前期に比べて）



(2)-① 来期（前年同期に比べて）



(2)-② 来期（今期に比べて）



コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻による影響が今後も懸念されることから、多くが現状と変わらないとみているようです。

◆質問2 設備投資内容は

(1) 今期の設備投資状況は「実施した」が48.8%（21社）で、前年度比8.3ポイントの増でした。内容は複数回答で、

①付帯設備 39.5%、②車両・運搬具 21.1%、③OA機器 13.2%が上位でした。「実施なし」は51.2%（22社）でした。

① 実施した21社 ※ %は複数回答38の割合（前年度比ポイント）

1	土地	0社	0.0 %	(- 3.8)
2	建物	2社	5.3 %	(- 2.4)
3	建設機械	2社	5.3 %	(+ 1.5)
4	車両・運搬具	8社	21.1 %	(- 2.0)
5	付帯設備	15社	39.5 %	(+ 8.7)
6	OA機器	5社	13.2 %	(- 6.0)
7	福利厚生施設	2社	5.3 %	(+ 1.5)
8	その他	4社	10.5 %	(+ 2.8)

② 実施していない。

	実施なし	22社	51.2 %	(- 8.3)
--	------	-----	--------	---------

(2) 来期の設備投資計画は「計画あり」が51.2%（22社）で、前年度比8.0ポイントの増でした。内容は複数回答で、

①付帯設備 26.8%、②車両・運搬具 17.1%、③OA機器 14.6%が上位でした。「計画なし」は48.8%（21社）でした。

① 計画している22社 ※ %は複数回答41の割合（前年度比ポイント）

1	土地	2社	4.9 %	(+ 4.9)
2	建物	4社	9.8 %	(+ 6.2)
3	建設機械	3社	7.3 %	(+ 0.2)
4	車両・運搬具	7社	17.1 %	(- 4.3)
5	付帯設備	11社	26.8 %	(-16.1)
6	OA機器	6社	14.6 %	(+ 7.5)
7	福利厚生施設	4社	9.8 %	(+ 2.7)
8	その他	4社	9.8 %	(- 0.9)

② 計画していない。

	計画なし	21社	48.8 %	(- 8.0)
--	------	-----	--------	---------

設備投資については、「今期実施した」が48.8%（21社）で前年度比8.3ポイント増、「来期計画あり」が51.2%（22社）で前年度比8.0ポイント増と、僅かに上向きになってきています。

また、設備投資を「実施した」あるいは「計画あり」とする企業において、その内容は「付帯設備」「車両・運搬具」「OA機器」など上位は例年と変わりませんが、こうした中で「土地」に2社、「建物」に4社が設備投資を計画しており、景気回復への期待が高まります。

◆質問3 今期直面している経営上の問題点は

順位	経営上の問題点（18項目から選択）	選択企業数	1位選択数	2位選択数	3位選択数	（前年順位）
1	⑭ 従業員の確保難	25	13	6	6	(1)
2	⑥ 原材料価格の上昇	23	13	8	2	(3)
2	③ 製品ニーズの変化対応	9	4	3	2	(2)
4	⑨ 材料・人件費外経費増	9	1	5	3	(10)

従業員の確保は、調査開始（平成28年）からの課題になっているとともに、物不足、円安、

原油価格の高騰による原材料価格の上昇が大きな問題となっています。また、顧客ニーズの変化が早いことから変化に対応できる製品開発などに苦慮されているのが読み取れます。さらには、燃料の高騰に伴う電気料金の値上げが新たな経営上の問題点となっています。

◆質問4 栃木県に対する要望懸案事項では、次のような記述がありました。

- (1) ゼロゼロ融資（新型コロナウイルス禍で売上げが減った企業に実質無利子・無担保で融資する仕組み）の取組をお願いしたい。
- (2) LRT の開通に関わらず、バス等公共交通機関利用促進に向けた各種取組の推進をお願いしたい。
- (3) ビジスマッチングの充実を図ってほしい。
- (4) 中小企業に対して、もっと援助してほしい。
- (5) 栃木魅力度ランキングアップ、栃木ブランドの海外展開拡大を図ってほしい。
- (6) 栃木県のPR をもっとしてほしい。
- (7) LRT 延伸による魅力度アップを図ってほしい。
- (8) 芳賀バイパス沿いに雑草が多く、除去をお願いしたい。

※ 以上8項目の記述がありましたが、県知事との意見交換会(2/9)には提出期限の関係で(1)、(2)の2項目を要望しました。残り6項目につきましては令和5年度に検討して要望します。

◆質問5 SDGs の取組（回答率：79.1%(34 社)） (%は複数回答 93 の割合)

No	取組事例	取組企業数	%	順位
1	貧困をなくそう	1	1.1	13
2	飢餓をゼロに	1	1.1	13
3	すべての人に健康と福祉を	10	10.8	4
4	質の高い教育をみんなに	5	5.4	7
5	ジェンダー平等を実現しよう	6	6.5	6
6	安全な水とトイレを世界中に	2	2.2	11
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	14	15.1	2
8	働きがいも経済成長も	7	7.5	5
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	4	4.3	9
10	人や国の不平等をなくそう	2	2.2	11
11	住み続けられるまちづくりを	4	4.3	9
12	つくる責任つかう責任	13	14.0	3
13	気候変動に具体的な対策を	17	18.3	1
14	海の豊かさを守ろう	1	1.1	13
15	陸の豊かさも守ろう	5	5.4	7
16	平和と公正をすべての人に	0	0	17
17	パートナーシップで目標を達成しよう	1	1.1	13
	計	93		

今回初めての調査でしたが、回答のあった43社中34社(79.1%)でSDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた取組みがされており、取組企業数の1位「気候変動に具体的な対策を」、2位「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」はカーボンニュートラル(脱炭素社会)実現に向けた取組みでもありますので、会員企業様の更なる取組をお願いいたします。

■ 知事との意見交換会

栃木県工業団地管理連絡協議会主催の「知事との意見交換会」が2月9日午後、ライトキューブ宇都宮において4年ぶりに開催されました。県内8工業団地代表者と福田富一知事はじめ県産業労働観光部長、産業政策課職員などが一堂に会し、県の産業労働観光施策と県内各工業団地の状況などについて意見交換しました。芳工連からは浦野会長、富永副会長、事務局長渡辺が出席しました。



<意見交換会会場>

福田富一知事の卓話概要

2023年度 県当初予算案が同日午前中に発表されたことから、全体的なことは知事から、産業労働観光部の重点事業は辻 真夫部長から説明がありました。

■ 栃木県誕生150年・G7大臣会合を契機に郷土愛醸成・魅力発信

明治6年6月15日に栃木県が誕生して150年、6月10日(土)に記念式典等を開催するなど郷土愛の醸成を図ります。また、6月24日(土)～25日(日)にG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催されることから、支援等により県の魅力を発信します。



<知事挨拶>

■ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシー等の未来への継承

「勇気・元気・感動」を与えてくれた大会のレガシーを継承するための基金(5億円)の創設、県スポーツコミッション(仮称)の設立など、スポーツを通じた地域活性化推進を図ります。

■ 若者・女性に選ばれる“魅力あるとちぎ”づくり

結婚から子育てまで女性に選ばれるとちぎ実現、ヤングケアラー総合支援、女性デジタル人材育成・活躍支援などの新規事業も含めて、女性や若者の本県への移住・定住を促進します。若者、女性に選ばれるため、皆様にもご協力をお願いします。

※ 知事卓話中、芳工連からの要望事項について、次のとおり回答がありました。

- (1) ゼロゼロ融資の取組については難しいため、伴走支援型特別融資(借換え)を創設しますのでご利用ください。
- (2) バス等公共交通機関利用促進に向けた各種取組の推進については、小学2年生に「みんなでのろう のりもの・のりかたガイドブック」を配布して、バスや列車の乗り方・降り方などを学んでいただいています。また、芳賀・宇都宮 LRT オープンハウスを県内道の駅等で開催して利用促進を図っています。

免許返納者が増えていることから公共交通はますます重要です。こうした中、公共交通の収支は悪化しており、国・県では営業指数の悪いところには補助を出していませんでしたが、見直しが必要と感じています。

なお、国体開催時に試験運行した自動運転バスは、令和7年にはレベル4での本格運行を進めています。

◆ 商工労働観光部の重点事業

1 ポストコロナにおける産業の競争力強化・中小企業等支援のため

- (1) 産業活性化金融対策として、経営安定資金の拡充（伴走支援型特別融資の創設、原油・原材料高騰等緊急対策資金の継続）、創業支援資金の拡充（スタートアップ支援枠の創設）をします。
- (2) ものづくり産業躍進プロジェクト推進として、戦略3産業（自動車・航空宇宙・医療福祉機器）経営強靱化、未来3技術（AI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材）推進を加速します。

2 産業の持続的な発展に向けた取組の推進のため

カーボンニュートラル実現に向けた取組やデジタルトランスフォーメーション（DX）を進めます。

3 産業人材の育成・確保のため

- (1) 「とちぎ職業人材カレッジ(仮称)」等の推進により企業の成長を担う人材の育成・確保を図ります。
- (2) 女性に魅力ある雇用・産業の創出等に向けた事業戦略策定、女性デジタル人材育成・活躍支援などを進めます。

浦野会長が概要を説明

始めに、板戸大橋の4車線化着手について、念願叶って工業団地に勤務する従業員も喜んでいましてと謝意を伝えました。

景気状況については、事前配布の資料を基に他の7工業団地と変わらず不変（横ばい）であること、仕事がきても物が入ってこない状況などを説明し、継続課題となっている従業員の確保難に対して、人の定着化さらには活性化を要望しました。

また、苦しい時の助け合いとして会員企業間での仕事の受発注を進めており、今後は県内工業団地に広げて企業同士の新たな事業展開に結びつけられたらと提案しました。



<浦野会長概要説明>

⇒ 結びで知事は、工業団地企業のビジネスマッチングの提案を受け、どのような仕組みで開催できるか検討したいと述べられました。

■ 会員企業他事業所訪問

2月25日(土)9社15名と事務局3名の計18名で、本田技研工業(株)鷹栖ブルーピンググラウンド(PG)様を訪問しました。今回は、細岡 大前芳工連会長のお骨折りにより、一面白銀の世界の中で大変貴重な体験をさせていただきました。

旭川市内のホテルを8時40分に出発した際は、雪が降ってきて天候が心配されましたが、鷹栖町に向かう途中から晴れ間も見え始め、到着した際には青空もでて絶好の研修日和となりました。

始めに運行管理棟で堀内様から事業概要の説明を受けた後、2グループに分かれ、1グループ9人が3台の車に分乗してコース視察から、もう1グループ9人はPG紹介ビデオ視聴から始まりました。ドライバーは、川上・奥山・宮川様に務めていただき、①訓練コース、②高速周回コース(約7km)、③ワインディングコース(約6km)、④登坂路(15度・20度・25度)、⑤総合コース、⑥EU郊外コース、⑦150R旋回コースの順に、登坂路以外は乾いた道路面を走っているかのようなスピード、かつ、すばらしいハンドルさばきで疾走していただきスリル満点でした。特に、150R旋回コースでの高速旋回に感動した参加者が多かったようです。また、登坂路では雪道やアイスバーンでの坂道発進をしていただき、4WD車の威力に改めて感心しました。

堀内様は、鷹栖PGは788万㎡(東京ドーム167個分)の広大な敷地を有しており、研究所

ではなく、Honda 製品の性能や魅力を高めていくための実験場です、と話されていました。

最後に、コース整備等で使用する除雪機等の特殊車両を視察させていただきましたが、超大型の車両に一同驚きを隠せませんでした。

休日にもかかわらず、対応していただきましたスタッフの皆様にご心から感謝申し上げます。



< 特殊車両の前にて >

< ① 高速周回コース上にて >



■ お知らせ

日立 Astemo(株)様から不織布マスク 2,400 枚が贈呈されましたので、芳賀町社会福祉協議会でご活用させていただきます。ありがとうございました。



< マスクを受けとる社協職員 >

< 芳工連日誌 >

【 2月の実績 】

- 9日 知事との意見交換会
- 22日 資源ごみ回収
- 24日 会員企業他事業所訪問
- ～25日 (本田技研工業(株)鷹栖 PG)

【 3月の予定 】

- 7日 交通防犯部会
- 8日 総務企画部会
- 9日 安全衛生部会
- 10日 環境整備部会
- 15日 第3回役員会
- 22日 資源ごみ回収、町交通安全対策連絡協議会
- 24日 町ゴルフ連盟総会